

# 電動薪割り機7t (ワンハンド・タイプⅡ)

## 取扱説明書



 **Dream Link**

## 目次

安全上のご注意	3
はじめに	4
各部の名称と働き	7
使用上のご注意	9
機器仕様	10
操作方法	10
メンテナンス及び保管方法	12
トラブルシューティング	15
保証書	19

# 安全上のご注意

人への危害、物的損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。



**警告**

「死亡または重症を負う可能性のある内容」を示します。



**注意**

「軽傷を負う可能性、または物理的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

お守りいただく内容の種類を次の図表示で区分し、説明しています。(下記の絵表示は一例です。)



指示

必ずしなければいけないことを示します。



禁止

してはいけないことを示します。

## 警告



指示

- ◆使用前に必ず取扱説明書を最後までお読みください。
- ◆手足の保護(グローブ、靴等)、ゴーグル、バイザーやイヤーマフ(耳当て)を使用する。足に丸太が落ちた場合や木片で怪我をする恐れがある。
- ◆稼働部から半径3m以内は使用者以外の人、ペットは近づけない。
- ◆使用済みのオイルは地域の条例等に従い廃棄する。
- ◆ログプッシャー稼働中は常に細心の注意を払う。大怪我の恐れがある。
- ◆メンテナンス、組み立て時には必ずコンセントを抜く。
- ◆正しい電圧でご使用する。
- ◆電源プラグは根元までしっかりと差し込む。  
(火災の原因)
- ◆電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的にかき掃除をする。  
(火災の原因)
- ◆しっかり固定された平らな場所に置く。  
(怪我の原因)
- ◆異常・故障時には直ちに使用を中止する。



禁止

- ◆安全装置や保護装置を外さない。
- ◆取扱説明書に記載されている使用方法にてご使用する。使用方法を誤ると怪我、切断の危険がある。
- ◆プッシャーが動いている間は絶対に触れないこと。
- ◆プッシャーが動いている間は、挟まれた薪を手で取り除かない。
- ◆電源プラグの破損、コードの被覆を剥がすなどを行わない。
- ◆機器使用の許可者・専従者以外は使用しないこと。

◆機器の改造をしない。



# はじめに

この度は薪割機をご購入いただき誠にありがとうございます。必ずこの取扱説明書を最後までお読みいただいた上でご使用ください。使用方法を誤ると事故、怪我等の危険性を伴います。

## 安全のためのご注意

- ◆取扱説明書を読まずに、本機器をご使用にならないでください。取扱説明書をよく理解し、正しい操作方法でご使用ください。
- ◆使用前に損傷個所がないか、または機器が通常に稼働しているかどうかをご確認ください。
- ◆カートンから取り出したときに、すべての部品があるか、破損個所はないかをご確認ください。  
万が一、損傷個所や部品の不足、機能に問題があればご連絡ください。
- ◆プッシャーとウェッジ(刃)の間に間隔をあけ、電源が入っている間は稼働部分に絶対に触れないでください。
- ◆使用する際には薪等が当たらぬよう、特に頭部、顔、腕部、手元には十分お気を付けください。  
また、髪の毛、スカーフ、毛、アクセサリーなど、身体の一部や洋服の裾、袖等が、プッシャー、動いている薪にからみ、機械に引き込まれることがあります。  
また、ご使用の際は安全のため、ヘルメット、保護メガネ、ゴーグル、耳当て、手袋などを着用ください。
- ◆飲酒後、薬服用後に使用しないでください。
- ◆機械を寝かしたり、立てたり、また機械の上に立つなど説明書にない使用方法は絶対にしないでください。
- ◆金属類、コンクリートなど薪以外の材料の破砕は絶対に避けてください。
- ◆機器から離れる際は、必ず電源を切り、停止していることをご確認ください。
- ◆油圧システムに異常や通常と異なる音がする場合は、機器を操作しないでください。使用前に油圧漏れをご確認ください。オイル漏れ等があると、滑って転倒したり、操作中に手が滑る危険性があります。
- ◆冠水や浸水した薪割り機は、絶対に使用しないでください。漏電や感電の危険性があります。
- ◆電気系統に問題があるとき、機器が濡れているときは使用しないでください。また不適切な電源コードや延長コードを使用して機器を使用しないでください。定格容量の小さなコンセントで使用しないでください。
- ◆適応外のサイズの丸太等の薪割りはしないでください。釘、ワイヤーやその他、金属破片が刺さっている丸太の薪割りはしないでください。
- ◆本機器は、管理者と許可者のみ使用できるように徹底しておいてください。
- ◆安全上の手引きとしてこの取扱説明書がありますが、お客様で危険があると

判断した場合、絶対に操作しないようにしてください。また操作時は、常に細心の注意を払って作業してください。

## 接続電源について

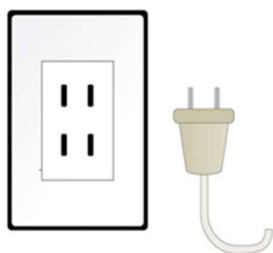
◎本薪割り機は、交流電源100V仕様で、定格電流は15A(無負荷アイドル運転電流:11~13A程度)ですが、起動時や負荷時には20A以上に達することがあり、ブレーカーが落ちることもあります。

◆20A容量に対応した電源を使用してください。(独立・専用電源)

単独のシステムの専用線で、20Aのアンペア容量を確保できる環境か、または他の家電製品を使用しているシステムであっても、一時的に他の機器の使用を制限(OFF)してください。

◆延長コードを使用の際は防湿タイプを使用し、20A容量を確保できるものをご使用ください。長い延長コードを使用することにより、電圧降下が生じ、機械の性能が低下するため、長さ10m以下で、ケーブルは直径2.0mm(線心)以上の延長コードをご使用ください。

**ご注意):本製品を交流200V電源につなぐことはできません。  
(大変危険です)**



20Aシステムの屋内内線で15A容量のコンセントで使用します。延長コードは巻いた状態で使用しないでください。渦電流損失熱が発生し、発火の原因となります。

## ご参考) 延長コードと電圧降下の関係

	延長ケーブル長さ(m)			
芯線太さ (mm <sup>2</sup> )	10	20	35	50
0.75	92.8V	85.7V	75.7V	64.4V
1.25	95.7V	91.5V	87.2V	78.6V
2.0	97.3V	94.7V	92.0V	86.6V
3.5	98.4V	96.9V	95.4V	92.4V

※AC100V/1500W(使用電流:15Aのとき)の電圧値(V)  
上記のように10m以内で、2.0mm<sup>2</sup>以上のケーブルを使用した延長コードが推奨されます。(ケーブル協会からの引用値)

## ◆薪に適した樹種

針葉樹(スギ・ヒノキ・アカマツ・カラマツ等)は着火しやすい反面、火持ちが悪く、多くのヤニ(タール)が含まれているため、化学物質が排煙(煙突)系に蓄積し、こまめに煙突掃除をしなければ燃焼効果が落ちます。これらは着火性が良いので、最初の焚き付け用として重宝されます。

広葉樹(ナラ・クヌギ・サクラ・アカシア・クリ・ブナ・カシ・ケヤキ等)は着火しづらい反面火持ちが良いので推奨されます。特にナラ・クヌギは薪を継ぎ足す量が少なくて済みます。

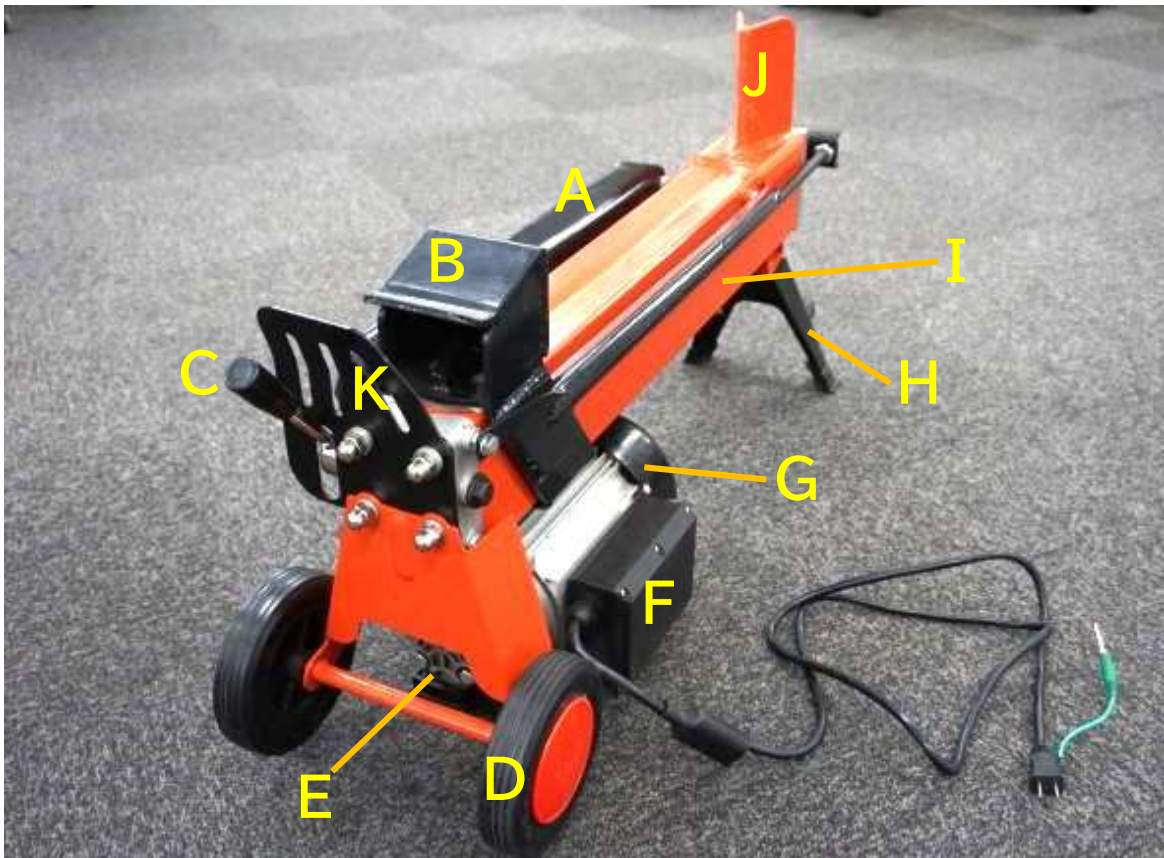
材質	種類	火付き	火持ち	煙	おき火	電動薪割り機7tの適合性
硬い木	カシ	○	◎	少ない	残る	※直径 15 cm以下が目安となります。
	クリ	○	◎			// //
	ナラ	○	◎			// //
	ケヤキ	○	◎			// //
	クヌギ	○	◎			// //
柔らかい木	マツ	◎	○	多い	あまり残らない	※直径 20 cm以下が目安となります。
	スギ	◎	○			// //
	ヒノキ	○	◎			// //
	シラカバ	◎	○			// //
	カラマツ	○	○			// //

※上記の薪の適合直径は乾燥させた薪で、生木や節目があるものは、適合直径はさらに小さくなります。但し、すべての種類が乾燥させた方が、割りやすいとは限りません。

### 本薪割り機の適合直径

広葉樹:直径15cmくらいまで  
針葉樹:直径20cmくらいまで

## 各部の名称と働き

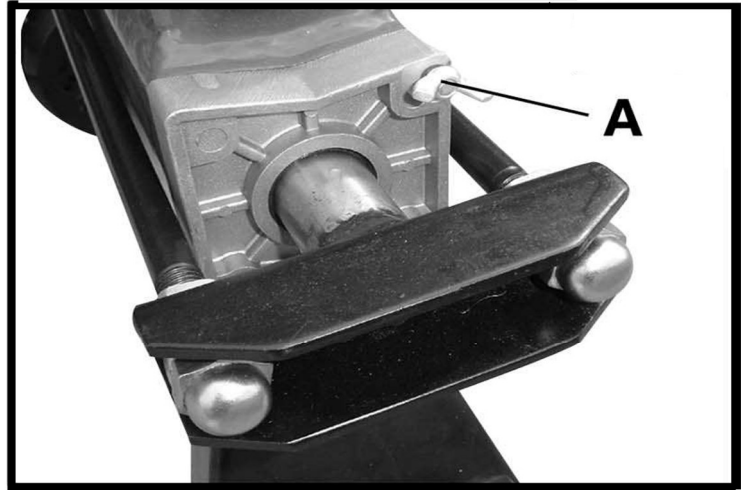


※実際の商品とは、部品の形状が異なることがあります。

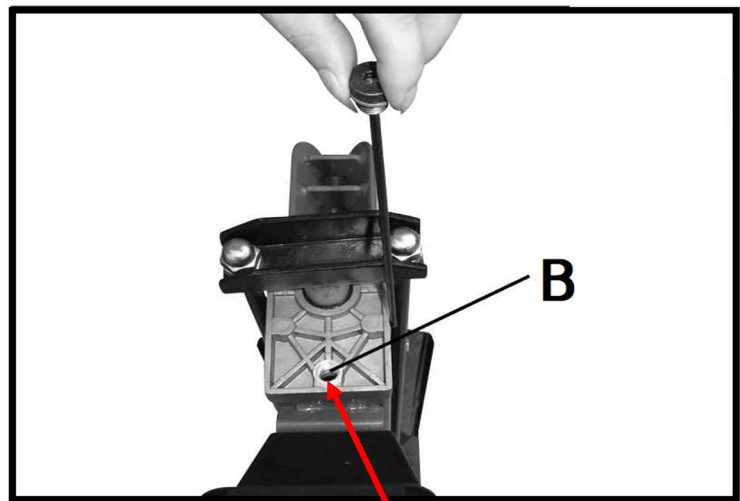
- |                   |  |
|-------------------|--|
| A. ログガイドプレート      | : 薪が薪割り機から落ちないようにホールドします。                  |
| B. ログプッシャー        | : 薪を前方に押し出し、Jスプリッター(ウエッジ/刃)にて分割します。        |
| C. 操作ハンドル         | : ハンドルを押し下げ、ログプッシャーを前進させます                 |
| D. 車輪と車軸フレーム      | : サポート脚の持ち手を持ち上げ、移動時に使用します                 |
| E. ギア(油圧)ポンプ      | : ギアポンプの油圧により、ログプッシャーを前面に押し出します。           |
| F. 電装(スイッチ)ボックス   | : モーターを動かすための電源スイッチとモーター始動用コンデンサが格納されています。 |
| G. 電気モーター・アセンブリ   | : 油圧を作るための動力で、AC100Vで作動します。                |
| H. サポート脚(前脚)      | : 薪割り機を支え、移動時の持ち手を兼ねています。                  |
| I. メインボディ(本体)     | : 薪割り機のフレームでオイルタンクを兼ねています。                 |
| J. スプリッター(ウエッジ/刃) | : 尖ったカッター部分で薪を割ります。4分割カッターを使用の場合、ここに装着します。 |
| K. 保護板            | : 薪の不用意な動きから、手元を守ります。                      |

## 薪割り機の後正面の機能

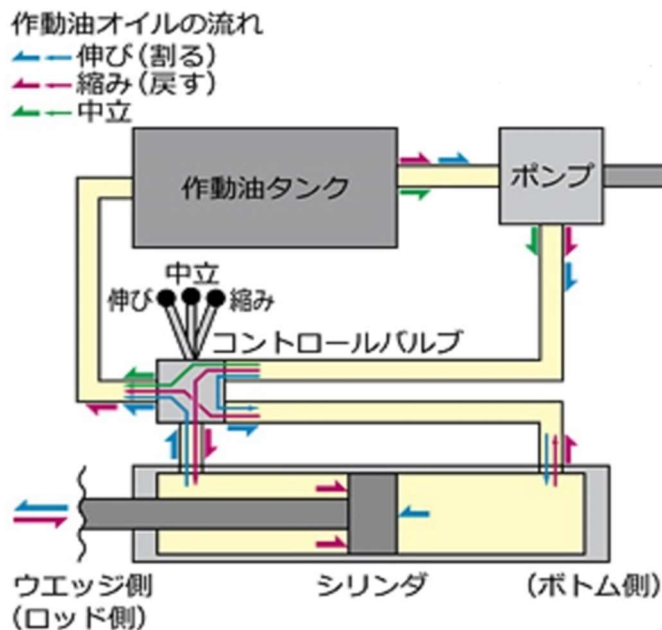
右図 A:エアブリード(蝶ナット)  
 薪割り機本体には、2.9Lの作動油が封入されています。油圧回路以外のオイルパン(タンク)を大気圧に保つため、この蝶ネジ(右:A)を数回程転程度緩め、オイルパン内が大気圧になるようにします。  
 (移動時または保管時は、オイル漏れを防ぐため、蝶ネジを締めます)



右図 B:オイルゲージ・ネジ  
 オイル交換、またはオイルを追加封入するときに使用するゲージとオイル封入口です。ネジにはオイルゲージの金属棒がついており、最下部の二つのマーキングの間になるようにオイル量を調整します。(P.13をご参照)



電動薪割り機の油圧サイクル概略図



オイル充填口のゴム状のパッキンのようなものはパッキンではありません。これは工場出荷後に、オイル漏れがないようにするためのシール剤で、通常使用時は必需ありません。抜きとっていただき、真鍮製のOリングがシールの役割を担いますので、しっかり締め付けてください。



## 使用上のご注意

不慮の事故を防ぐため、安全に充分配慮してご使用ください。

- ◆上限を超えるサイズの丸太、くぎ等の異物が入った丸太は使用できません。機械が損傷したり、大怪我をする恐れがあります。丸太の切断面は、長辺方向に対し直角に切断し、枝は予め、幹から切り取っておいてください。  
また、木目に沿って丸太を割ってください。誤った向きで使用すると機械が損傷する恐れがあり、また、薪が意図しない方向に飛び危険です。
- ◆操作場所は、周囲に何もなく、フラットで滑らない場所に設置してください。また、巻き割り機を台の上に設置して操作するときは、堅牢な台の上で、しっかりとぐらつきのないような環境で操作してください。
- ◆稼働中に、無理やり薪を交換したり、引き抜くことは決してしないでください。大変危険です。
- ◆機械の稼働部(特に、ログプッシャー)を触らないでください。
- ◆本薪割り機は長さ52cmまでの薪を割ることができます。目安として、予め、約50cm以内に丸太をカットしておいてください。
- ◆薪が割れない(割れにくいとき)は、そのまま使用せず、操作レバーを一旦戻してください。また、ログプッシャーが動かないとき、連続して5秒以上の操作ハンドルの押込みは控えてください。ブレーカーが落ちるだけでなくモーターとギアポンプ(油圧ポンプ)がロック(固着)する原因となります。  
もし、割れにくいときは、操作レバー戻すか、ノコギリで切れ目を入れる、または薪の向きを90°程度傾けてから操作を継続してください。  
それでも割れないときは、その薪の薪割りは継続せず、中止してください。
- ◆硬い木(6ページの表をご参照)で直径15cm以上の丸太を割らないようにしてください。柔らかい木でも、直径20cm以上の丸太は、機械に負担をかけるため、割らないようにしてください。
- ◆連続して30分以上使用しないでください。作動油が高温で沸騰して破砕力が落ちる、またはモーターの過熱につながることもあるため、一旦、電源を落として、約15~20分程度モーターを休ませて、冷やしてください。モーターはコイルが焼けると使用不能となります。また、モーターを冷やすとき、水をかけるなどの冷やし方は絶対に避けてください。
- ◆本薪割り機の車輪と持ち手を利用して機械の移動が可能ですが、重量物のため、充分回りに配慮し、安全に移動をしてください。



持ち手を使って移動

# 機器仕様

- ◆車輪付きとなっており、持ち手を利用した移動が可能なコンパクト設計です。
- ◆電動モーターと油圧ギアポンプを使用した油圧機で、約7重量トンの力を発揮し、パワフルに素早く薪割りが可能です。
- ◆木材の薪割り可能長さは52cmで、長尺材の薪割りが可能です。
- ◆AC100Vの電動式のため、電源コンセントにプラグを差し込むだけで使用可能です。
- ◆油圧ギアポンプで丸太を安全に割ることができ、斧やハンマーは不要で、薪割り作業が楽にできます。
- ◆操作が簡便で片手で操作が可能な「ワンハンド・コントロール方式」を採用しています。
- ◆頑強な金属ボディに搭載した油圧ポンプにより、安全且つ強力な堅牢設計を実現しています。

本機器の仕様を下表に示します。

モデル	薪割り機7t(ワンハンドタイプ)	プッシャーの移動距離	380mm
モーター仕様	単相モーター AC100V(50/60Hz) 2900/3480rpm(50/60Hz) 2HP(1500W) 電源ケーブル長さ:1.6m	油圧シリンダーの直径	25mm
		充填オイル量	2.9L
		サイズ	W270mm x H480mm x L980mm
定格電流値	15A(無負荷時11~13A)	重量	47kg
瞬間最大電流値	19A以上(推奨電源:20A)	最大出力	7重量トン
進相用コンデンサ	C:100 $\mu$ F/250V	防水・防爆機能	無

**ご注意):本製品を交流200V 電源につなぐことはできません。  
(大変危険です)**

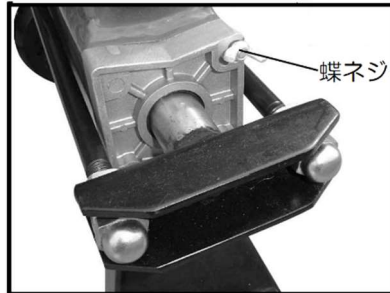
# 操作方法

1. 回りに障害物などがなく、且つ人や車両の往来がなく、水平で安全な場所に設置してください。丸太が取り扱いやすい位置に配置し、割った後の薪の積み重ねがしやすいようなラックなどを用意します。
2. 割る薪を用意します。最大長さ52cmまでの薪を割ることができます。それ以上の長さの薪は、予め、約50cm程度以内に切り揃えておくことをお奨めいたします。



長さ50cm

- 20A以上の電源を確保できたら電源コードを引き伸ばし、コンセントに差し込んでください。延長コードを使用する場合は、稼働中にコードを損傷させたり、人の足に引っかけることのないようご注意ください。(推奨延長コードはP.5をご参照ください)
- 使用中はエアブリード(8ページの図のA/蝶ナット)のブリードスクリュー(蝶ナットネジ)を数回転程度緩め、作業が終了後、または移動時には元のように締め直します。



- 丸太を機械に乗せ、本体上に平らに置きます。2枚あるログガイドプレートの真ん中に乗せます。スプリッターウェッジ(7ページの図のJ)とログプッシャー(同ページのB)がお互いに対峙する位置に、薪を置いてください。
- 電気モーター・スイッチボックスにある始動ボタン(同図のF)を押します。モーターが回転しますので操作ハンドル(同図のC)を押し下げると、スプリッター(ウェッジ/(分割刃))に向けてログプッシャーが動き出し、薪を押し、薪が割れます。薪が割れたら操作ハンドルから手を離すか、緩やかに上方に戻します。これでログプッシャーが手前に戻ってきます。



薪はスプリッター側(刃)に寄せて設置します。 操作ハンドルを押し下げます。

- 万一、堅い薪のため、ログプッシャーが進まないときは、5秒以内に操作ハンドルを戻してください。割れない状態で、操作ハンドルを強く押し続けると、操作ハンドルの付け根の制御バルブが滑り、制御位置がずれて、以降、正常に動作しなくなります。また、薪が割れない状態で、操作ハンドルを押し続けると、油圧回路に高負荷がかかり、制御バルブ、油圧シリンダー、ギアポンプ、Oリングなどが壊れ、油圧回路にダメージを与えます。最悪のときは、高圧のオイルが噴出すこともあり、大変危険です。万一、そのような状態で、ログプッシャーが戻らなくなったときは、電源スイッチを切り、ログプッシャーを元に戻して、機械の状況を確認してください。

**注意:** 薪がすぐに割れない場合、5秒以上、操作ハンドルを押し続け、機械に負荷を掛け続けしないでください。油圧ポンプ、油圧シリンダー、モーター機構の損傷や発熱を誘発し、ブレーカーが落ちることもあります。ログプッシャーが動かないときは、前述のようにスイッチを切り、リセットしてください。

8. 機械への負荷軽減のために、30分以上の連続運転はしないでください。モーターや油圧回路損傷の原因につながります。30分運転したら、約15～20分休ませて、機械を冷却してください。薪割り作業が終了したら、飛び散った切れ端などを片付けるとともに、薪割りについた木片や汚れをよく落としてください。その際に、機械からオイルの滲みや漏れがないかどうか、または各部の損傷や部品の欠落がないかどうか、確認をお願いします。



堅い木材(割れにくい木材)を分割するために、操作ハンドルを5秒以上押し続けないでください。油圧回路とモーターにダメージを与えます。万一、プッシャーが戻らないときは、電源スイッチをOFFにして、油圧回路内の圧力を下げてから再始動してください。

## 四分分割カッターの使い方

四分分割カッターは右図のようにスプリッター(刃)に被せて使用します。効率的な分割作業が可能ですが、四分分割カッターを使用すると、分割できる薪の直径が小さくなります。理由は、刃先が縦横になるため、刃に当たる力が分散されるためです。従って、スプリッター単体のときと比べ、同じ直径の薪が割れなくなることがありますのでご注意ください。



# メンテナンス及び保管方法

## 油圧オイル(作動油)を交換(または補充)する手順

<注意>

お届け時には、**予め適切なオイル量が充填してあります**が、在庫期間の長短があり、多少の揮発が考えられます。念のため、ご使用前に必ずオイル量をチェックしていただき不足しているときは、オイルの追加注入をお願いいたします。(オイルの種類は P.14)

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. ログプッシャー(7ページの図 B)が完全に戻っていることを確認してください。
3. オイルゲージ・ネジ(8ページの図 B)を本体付属の6mmの六角レンチを使用し、オイルゲージを外します。その際、ネジ込部に装着してある金属製の「Oリング」に傷みやキズ、または「Oリング」自体の欠落がないか確認します。ゴム製に見えるのはシール剤で、オイルゲージ・ネジを外したときに不要のため、捨ててください。
4. オイルを排出させるために、薪割り機の下に4L程度入るオイルコンテナを配置します。コンテナはバイクや自動車のオイル交換時に使用するもので構いません。本体を傾けコンテナにオイル抜きドレインから排出させます。(次ページ図) 全交換のときのオイル(作動油)量は、**2.9L**です。

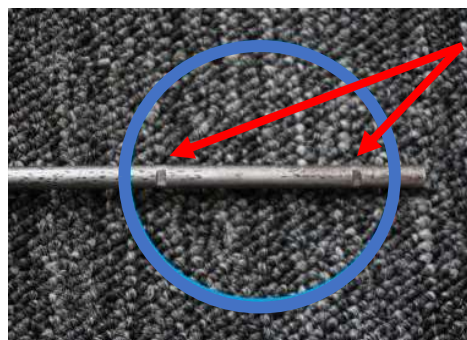


5. オイルの排出が完了したら、薪割り機を反対側に傾け「オイル注入口／排出口」【オイル抜きドレインと同じ穴】を上に向けます。清潔な漏斗を使い、新しくきれいな専用油圧オイルを本体に注入します。(オイルの種類は P.14をご参照ください。)

オイルの量は、交換時は2.9ℓ、補充時はオイルゲージの目盛りの中間に入るように注入して下さい。

オイルレベルは定期的にチェックし、少ないときは継ぎ足してください。

但し、オイルが黒ずんで、粘性が低いときは、新しいオイルと交換してください。オイルが古くなると抵抗が増し、破碎力が弱まります。



目盛り

オイル量はゲージ間(目盛り内)に入るようにしてください

6. オイルゲージ・ネジを再び本体に装着します。オイルゲージ・ネジからオイル漏れがないかどうか確認をしてください。オイルゲージはしっかり締めて下さい。

ご注意：使用済みオイルは適切に処理をして下さい。廃油回収業者か、またはガソリンスタンドに持ち込み、処理をお願いしてください。「河川や湖沼に捨てる」、「地面に捨てる」、「排水溝に流す」、「家庭ゴミと混ぜる」これらは法令や条例で禁じられています。



## 推奨オイル

ご注意:油圧用オイル(作動油)は、油圧機構に使われる専用の特性を持ったオイルです。車のブレーキ機構などにも使用されますが、エンジンオイル、ミッションオイルなどの摺動部(金属同士がこすれる部分)の摩擦を軽減する「潤滑油」とは全く性質の異なる役割を持った製品のため、誤って使用することがないようにしてください。

<推奨オイル>

粘度グレードが、ISO VG32番、VG46番のオイルをご利用ください。

製造元	種類	商品名・型番	
		粘度:ISO VG 32	粘度:ISO VG 46
昭和シェル 石油	耐磨耗性	シェル テラス S2 M 32	シェル テラス S2 M 46
ENEOS	一般	FBK オイル RO32	FBK オイル RO46
コスモ石油	一般	コスモオルパス 32	コスモオルパス 46
	耐磨耗性	コスモハイドロ AW32	コスモハイドロ AW46
出光石油	一般	ダフニー メカニックオイル 32	ダフニー メカニックオイル 46
	耐磨耗性	ダフニースーパーハイドロ 32A	ダフニースーパーハイドロ 46A
モービル 石油	一般	DTE オイル ライト	DTE オイル メディアム
	耐磨耗性	モービル DTE オイル 24	モービル DTE オイル 25
エッソ石油	一般	テレツソ 32	テレツソ 46
	耐磨耗性	ヌトー H32	ヌトー H46

※オイルはお近くのホームセンター、ガソリンスタンドなどでお買い求めください。概して、32番はオールシーズンタイプ/46番は粘性があるので、春夏秋用です。

### 本薪割り機の適合作動油

ISO VG32番(オールシーズン)

ISO VG46番(春夏秋用)

# トラブルシューティング

薪割り機使用中に問題が発生した場合は、下記を参照してください。

発生現象	原因	解決法
薪が割れない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 薪の置き場所の問題。</li> <li>✓ 直径を越えている丸太、又は丸太が堅過ぎる。</li> <li>✓ 油圧が弱い</li> <li>✓ 油漏れ箇所がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 薪をログガイドプレートに沿ってきちんと置く。</li> <li>✓ 短く切る、又は丸太を予め細くする。 (P.6、P.11参照)</li> <li>✓ 油圧オイルが適量か、ゲージの確認を行う。</li> <li>✓ 漏れ箇所部分のOリングの交換、または接合部再シールを行う。</li> </ul>
ログプッシャーが上方向への振動又はぎこちなく「カタカタ」と動く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ サーキット内に空気が混入している(特に油圧シリンダー内に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 油の量を確認する。足りなかったら加える。</li> <li>✓ 無負荷の状態、ログプッシャーを繰り返し作動させ、油圧回路内のエアを抜く。</li> <li>✓ 本体とプッシャーが接触していないかの確認</li> </ul>
本体の各部の接合部からの油の漏れ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 接合部分のOリングが損傷している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ Oリングの交換を行う、または再シールを行う。</li> </ul>
モーターのうなり音がするが、起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 延長コードの容量不足の可能性が考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 延長コード(10m以上)を使用しない。</li> </ul>
ブレーカーが落ちる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コンセントのアンペア不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 20Aを確保出来る専用電源を使用する。</li> </ul>
操作ハンドルに呼応したプッシャーの動きが見られない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 操作ハンドルが硬く、押し下げにくい。または、ギリギリと金属音がしてログプッシャーが動かない、動きが遅い、戻らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 制御バルブの調整が必要→コールセンターへ連絡。</li> </ul>
モーターが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ファンが硬い。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンセントを抜き、モーターが作動しない状態にしてください。</li> <li>2. モーターの前方に黒いカバーがついております。カバーは3つのプラスネジで固定されており、3つのネジを取り外します。</li> <li>3. ネジを取り外すとモーター冷却用の白いファンがあり、そのファンを時計まわりに回す。 ⇒ファンが固くて回りづらい、などのときはギアポンプの擦り合わせ、またはシャフトの偏心・ロックが考えられる。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ そのときは、P16～記載の「モーターまたはギアポンプが固着しているときの対処法」をご参照</li> </ul>

# モーターまたはギアポンプが固着しているときの対処法

## モーターまたはシャフトのロックとは

モーターのファンの回転がスムーズでない(指で軽く回らない)ときは、ギアポンプとモーターの擦り合わせが悪く、シャフトが固着している状態が考えられます。メーカー出荷時には、オイル漏れを防ぐため、ギアポンプはかなり強いトルクで締め付けてあります。

運転を開始すると過負荷により、ギアポンプのシャフトと軸受の摩擦で熱が発生し、シャフトと軸受が固着することがあります。

原因は、以下の通りです。

- ・太い薪、または堅い薪を割ったときに起きる高熱・高摩擦によるシャフトの表面の荒れ
  - ・起動時に高い初期電流が流れ、モーターのシャフトが偏心してシャフトの表面が荒れる
- その症状を改善させるためには、以下の手順にてご調整ください。

- (1) モーター前部にある黒いファンカバーの 3 本のビスを外し、ファンカバーを外します。
- (2) 添付の画像のように、2 本の袋ナットを外し、赤い塗装の車輪を外してください。
- (3) ギアポンプの手前にある 6 本のネジを緩め、指でファンを回してみてください。軽やかに回ることが確認できたら、その状態で、少しずつネジを締めてゆき、継続してファンが軽く回る状態が維持できるよう締めつけてください。
- (4) 次に、ファンが軽く回る状態で、モーターのスイッチを入れてください。ファンが指や周囲のものを巻き込まないように注意しながら、問題なく起動することが確認できたら、起動した状態で、少し強めにトルクを掛けてください。
- (5) モーターを停止させ、再度スイッチを入れたときに問題なく起動できれば、OK です。

上手くゆかないときは、この調整を繰り返し、モーターを起動状態させ、無負荷状態で約10~15分程度モーターを回転させ、シャフトと軸受を馴染ませてください。

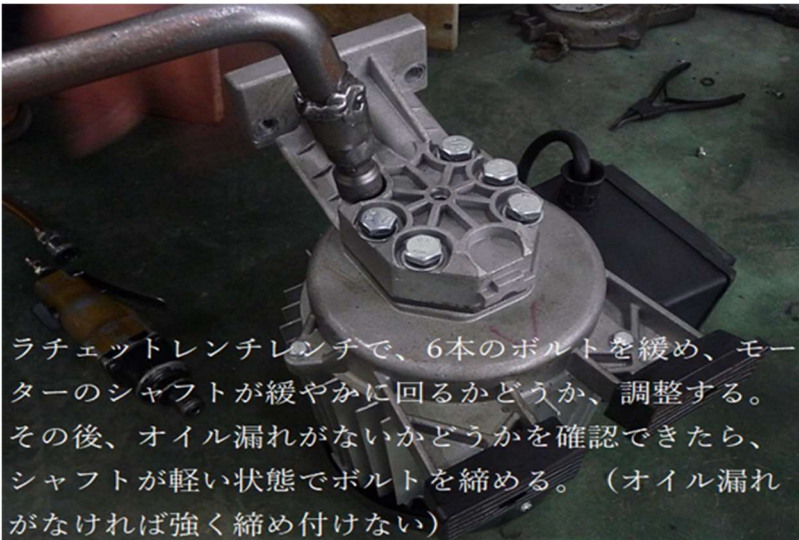
この状態で使用して、ギアポンプの下部からオイル(作動油)が滲んでこなければ大丈夫です。染みてきたときは、さらにネジにトルクを掛け、締めてください。

本状態で、モーターを起動し、スムーズに回ることを確認して、数日間、オイル漏れがないことをチェックしてください。当初、オイルが漏れなくても、薪割り作業中に、オイルの圧力が上がると、オイルが染み出す可能性がありますので、ご注意ください。



上図のように 4 本の袋ナットを外し、赤いプレートの車輪と黒いプレートの保護板を外します。





ラチェットレンチで、6本のボルトを緩め、モーターのシャフトが緩やかに回るかどうか、調整する。その後、オイル漏れがないかどうかを確認できたら、シャフトが軽い状態でボルトを締める。(オイル漏れがなければ強く締め付けない)

※6本のネジを緩めて調整してみたが、うまくゆかないときはギアポンプの上の3本の六角ネジを緩めて、ゴムハンマーか、または、木槌で、その接合部を叩いてみてください。

順番は、①ギアポンプの6本のネジを緩める

②ギアポンプ上部の3本の六角ネジを緩める⇒ゴムハンマーもしくは木槌で、3本のネジのある接合部を叩く。

③ギアポンプの6本のネジを締め、次に、六角ネジ3本を締める

これは、モーターとギアポンプのシャフトと軸受けが一直線になく、固着しているときに、摩擦が発生しないように修正する有効な方法です。

## 参考資料):屋内配線について

一般家庭の屋外の配線への供給は、電柱から通常は単相3線式200Vで供給されています。添付の図をご参照ください。3線の真ん中はアースです。その3線から、アース線をはさんで片側2本を100Vの配線が1系統、そしてもう一つの系統で2系統が通常です。しかしながら、アンペア契約で20Aのお宅では、それを2等分して供給するので半分ずつで、10Aずつとなります。これだと小容量の家電製品しか使用できません。このため、20A契約では、わざと1系統の100Vのみの配線のところもあります。

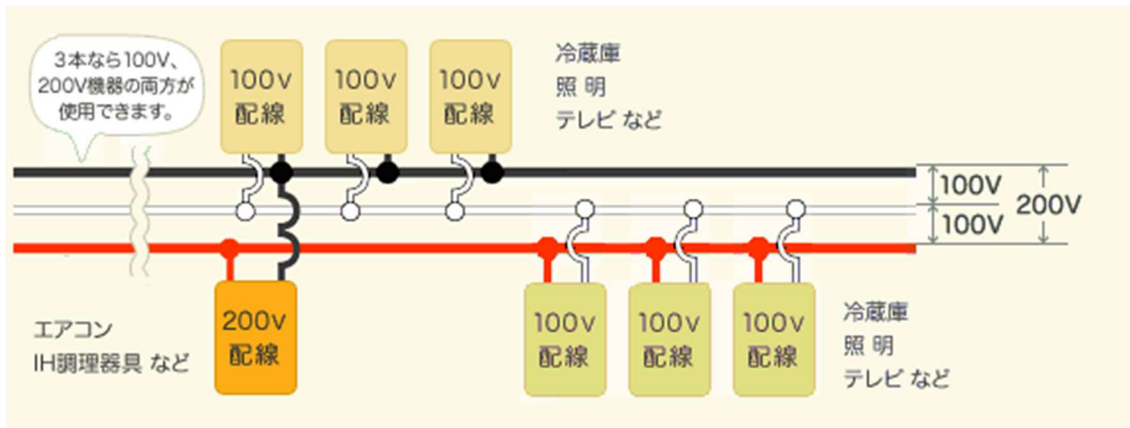
薪割り機は、通常は、15A程度ですが、MAX(瞬時)に20Aくらいになることもあります。従って、20Aを確保できる電源が必要です。すなわち1系統20Aを確保するためには最低40A契約でないと支障が出るということになります。

そのことはアンペアブレーカーと配線用ブレーカーを見れば分かります。

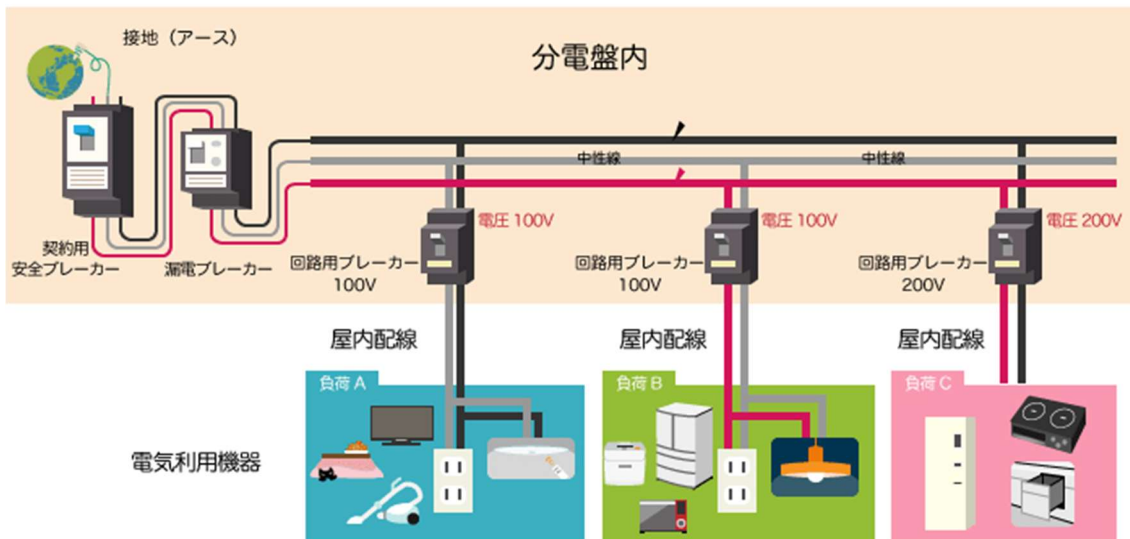
40A契約では、2系統(配線用ブレーカー×2個)で20A+20Aです。

30Aだと、1系統15Aのため、電源事情によっては、使用できない可能性もあります。

もし、20A配線が専用の系統になっておらず、屋内配線と共用のときは、電子レンジや掃除機など消費電力の高い家電は、薪割り機使用時は、一時的に使用しないことが求められます。専用配線の工事をご希望の時は、お近くの電気工事店、または電気工事士にご相談されることをお勧めします。



具体的な配線系統図は



契約容量によるブレーカー色の違い

アンペアブレーカーの色	赤	桃	黄	緑	灰	茶色	紫
契約アンペア(A)	10A	15A	20A	30A	40A	50A	60A

## 保証書

- この度は、弊社製品をお求めいただきありがとうございます。正常な使用状況で保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご提示の上、弊社へご連絡ください。  
ご購入日から半年間:本書の注意事項に従った正常な使用状況において、故障が発生した場合、修理に必要な部品を無償にてご提供させていただきます。但し、商品到着後7日以内に初期不良のご連絡をいただいた場合は良品交換を行わせていただきます。
- 保証期間中でも、下記のような場合には、有料での部品提供となる場合があります。
  - ① 使用上の誤りあるいはメンテナンス等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷
  - ② お客様ご自身での改造による故障、損傷
  - ③ お買い上げ後の移動や落下による故障、損傷
  - ④ ご使用後のキズ、変色、腐食、および保管上の不備による故障、損傷
  - ⑤ 消耗が起因とする故障、損傷および消耗品の交換
  - ⑥ 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、風水害、その他天災地変、あるいは外部要因による故障、損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証の要否は、誠に勝手ながら弊社において判断させていただきます。
- 中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された製品は保証対象外とさせていただきます。
- 保証期間中でも修理・修復に伴う工賃のお支払は出来かねます。予めご了承ください。
- 保証期間内の修理依頼にかかる送料は、発送時にご依頼主様の元払い、返却時は弊社の元払いとさせていただきます。(初期不良時の送料負担は、全額、弊社負担とさせていただきます。)
- 保証期間経過後の送料は、全額、ご依頼主様のご負担とさせていただきます。
- 修理預かり期間中の代替品の出荷や貸し出し、および故障した製品の原因追究や解析等の調査はいたしかねますのでご了承ください。

品名	薪割り機7tワンハンド・タイプⅡ
保証期間	購入日より6か月間
お客様ご連絡先	お名前 ご住所 お電話番号
コールセンター番号	0120-070-285 ネットショップ総研・ドリームリンク事業部